

緑の少年団のつくり方

- 団員を募集して名称をつけましょう。
- 団の決まり(団則)をつくりましょう。
- 育成会(ご家族や地域の方々によるサポーター)をつくりましょう。
- 都道府県の緑の少年団連盟に登録しましょう。
都道府県の緑化推進委員会にお問い合わせ下さい。
<http://www.green.or.jp/network/>
- 安全会などに加入しましょう。
国土緑化推進機構にお問い合わせ下さい。
(TEL:03-3262-8451)
- 活動のすすめ方
 - ・年間の活動目標と活動計画を立てましょう。
 - ・団員を中心に、指導者、育成会、OB・OGが協力して個別計画を立てましょう。
 - ・安全マニュアルをつくりましょう。



*詳しくは都道府県、緑の少年団連盟にご相談を



全国緑の少年団連盟
公益社団法人 国土緑化推進機構

〒102-0093
東京都千代田区平河町2丁目7番4号 砂防会館別館
TEL:03-3262-8451(代) FAX:03-3264-3974
E-mail:info@green.or.jp <http://www.green.or.jp>

緑の少年団

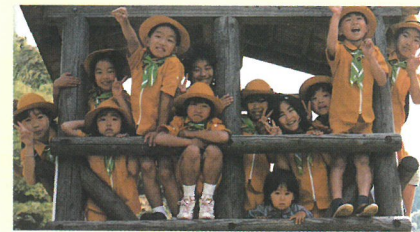
緑の少年団とは

緑の少年団は、次代を担う子どもたちが緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした自主的な団体です。

緑の少年団の生い立ち

誕生

昭和35年、国土緑化推進委員会が「グリーン・スカウト」の名称で緑化を実践する少年団の結成を呼びかけ、各地で少年団が誕生しました。



成長

昭和44年、秋田県から「緑の少年団の結成について」の提案があり、以後各県で緑の少年団が結成され団数も著しく増加しました。

昭和49年第25回全国植樹祭(岩手県)に緑の少年団が参加し、全国的に注目を集め、全国各地で緑の少年団の結成に拍車がかかりました。

発展

緑の少年団の成長に伴い、昭和50年代になって「都道府県連盟」の組織化が始まりました。

平成元年、緑の少年団は2000団体、団員も18万人と大きく成長しましたが、「みどりの日」の制定を機に、さらに、少年団活動の内容充実や相互の連携強化を図ることを目的として、同年、「全国緑の少年団連盟」が設立されました。

現在(平成31年1月)の団体規模は、3290団体、約33万人となっています。

年表

(参考1)

1960年(S35)	国土緑化推進委員会による設立提唱
1974年(S48)	「全国育樹祭」(岩手県)への「緑の少年団」参加で全国的に注目
1975年(S50)	林野庁による緑の少年団の育成・強化方針の打出し
1976年(S51)	「緑の少年団活動発表大会」開始
1989年(H1)	「全国緑の少年団連盟」設立
1990年(H2)	「緑の少年団全国大会」開始
1999年(H11)	「緑の少年団国際交流事業」開始
2015年(H27)	「緑の少年団指導者研修交流会」開始

団数・団員数の推移

(参考2)

